

ティーンズ通信

NO.35 2015年2月発行
川口市立図書館

和を知る

日本の伝統や文化にふれることができる本を紹介します。

日本の魅力を再発見してみてください！

和を感じる物語

「カブキブ! 1~3」
榎田ユウリ／著
角川書店 Y913

来栖黒悟は、歌舞伎が大好きな高校1年生。学校で歌舞伎部をつくろうと、親友の協力を得て、メンバー集めに奔走する。歌舞伎の話なんて難しそうと思う人も、楽しく読める青春小説。

「和菓子のアン」

坂木司／著
光文社 Y913

デパ地下の和菓子店で働き始めた梅本杏子(通称アンちゃん)は、ちょっぴり太めの18歳。個性的な店長や同僚に囲まれる日々の中、歴史と遊び心に満ちた和菓子の奥深い魅力に目覚めていく。

「りかさん」

梨木香歩／著
偕成社ほか Y913

お雛祭りに祖母に「リカちゃん人形」をねだったようこ。しかし、届いたのは、黒髪の市松人形の「りかさん」だった。がっかりしたようこだったが、次第に「りかさん」の魅力にひきこまれていく。

「しゃべれどもしゃべれども」

佐藤多佳子／著
新潮社 Y913

あがり症のため上手く話すことができない従弟から頼られ、話し方教室を開くことになった落語家の今昔亭三つ葉。教室には、いじめにあった小学生や赤面症の野球解説者までもが通いはじめる。

日本の伝統&文化

「着物の大研究」
馬場まみ／監修
PHP研究所 K593

日常生活ではなかなか着る機会が少ない着物ですが、日本人なら、その着方、身のこなし方、歴史など、ぜひ知っておきたいですね。日本文化を身近に感じてみましょう。

「風呂敷」

森田知都子／文
文溪堂 K385

古く奈良時代からあった風呂敷は、日本を代表する伝統の布です。お風呂に入るときに、その上で脱着をしたのが起源ともいわれていますが、現代では、物を包むだけでなく、トートバックや帽子などに姿を変え使われることもあります。風呂敷の魅力がわかる1冊です。

「しばわんこの和のこころ1~3」
川浦良枝／作
白泉社 Y386

日本に古くから伝わる和の作法や暮らしを、柴犬の「しばわんこ」がユーモラスに教えてくれる絵本。四季折々の日本の昔ながらの暮らしを紹介しています。

「にほんのおまじない」

広田千悦子／著
徳間書店 Y147

日本に伝わるおまじない。なんとなく実践しているものもあると思いますが、その本当の意味を知っているでしょうか。暮らしの中で簡単にできるおまじないを紹介した本です。

おぼろつき
「朧 月市役所妖怪課」

青柳碧人／著
KADOKAWA Y913

父に憧れて公務員となった宵原秀也（よいはらしゅうや）。しかし、配属された部署は、妖怪と市民とのトラブル処理が仕事という「妖怪課」だった。

妖怪になつかれる体質をもつ秀也は、様々な妖怪を呼び寄せてしまい、事件に巻き込まれていく。

シリーズ全3巻あります。

異界とかかわる物語

鬼、妖怪、死神、怪物、天狗…。人ならぬあやしいものが出てくるお話を今回は集めてみました。

本当に恐怖を感じるものから、意外と人情味があるものまで、幅広い作品があります。勉強の気分転換に読んでみてください。

「鬼の橋」

伊藤遊／作
福音館書店 Y913

平安時代の貴族、小野篁（おののたかむら）の少年時代の物語。

篁は妹を失った悲しみから、この世とあの世をさまよっていたが、両親を失くした女の子、阿子那（あこな）と鬼の非天丸（ひてんまる）との出会いにより、成長していく。

「天狗童子」

佐藤さとる／作
講談社 Y913

舞台は16世紀初頭の戦国時代。

山奥に住む年よりの与平に笛を習うため、子どものカラス天狗の九朗丸は人間の姿となり与平と暮らし始めた。

人間と天狗の心が通いあう温かい物語。

「今昔物語集」

角川書店／編
角川書店 Y918

平安時代末期に成立したといわれる説話集「今昔物語」には、鬼や妖怪がたびたび登場します。

現代語訳・原文・解説が書かれているので、読みやすい「ピギナーズ・クラシックスシリーズ」です。

「怪物はささやく」

シヴォーン・ダウド／原案 パトリック・ネス／著
あすなろ書房 Y933

複雑な家庭環境に育ち、学校に居場所がないコナーは、ある夜、イチイの木の形をした怪物が見えるようになる。

怪物は、コナーに3つの物語を語り終えた後、4つめの物語は、コナーに語るよう促した。

コナーは、真実を語るべく、自分の心や家族と向き合っていく。

「死神うどんカフェ1号店」

石川宏千花／著
講談社 Y913

不慮の事故により、自分を責めて、生きながら死んだような生活をおくっている希子（きこ）。

ある日、希子の前に、メニューは、かまたま（うどん）とカフェオレのみで、従業員は人間の姿をした死神という不思議な店があらわれた。

親しみやすい死神との日々により、希子は心を開いてく。

シリーズ3巻、続刊中です。

けんこうこ
「肩甲骨は翼のなごり」

デイヴィッド・アーモンド／著
東京創元社 Y933

マイケルは一家で引っ越した家のボロボロのガレージで奇妙な生物と出会う。

それは、体じゅうに蜘蛛の巣や青バエの死骸をまとって、何者なのか分からない。

しかし、マイケルは友達のミナと共に、この生物にひかれていき、不可思議な体験をする。